

集中治療室活動度スケール

	分類	定義
0	活動なし (ベッド上臥位)	スタッフにより他動的な寝返りや運動は行えるが、能動的な動きはない。
1	ベッド上座位 ベッド上での運動	あらゆる活動がベッド内。寝返り、腰上げ(ブリッジ)、自動運動、床上自転車エルゴメータや自動介助運動などを含む。ベッドの外に出たり、ベッドの端を越えない範囲での活動。
2	他動的な椅子への 移動 (立位なし)	立位や端座位になることはなく、他動的なリフトやスライドによる椅子へ移乗。
3	端座位	スタッフによる介助を含み、ある程度体幹コントロールを伴った能動的な端座位。
4	立位	介助の有無に関わらず立位になって体重を足で支えられる。立位介助用リフトやチルトベッドを使用してもよい。
5	ベッドから椅子へ の移乗	一度立位になって足を踏み出す、もしくはすり足での移乗が可能。この動作は、椅子へ移動するために、一方の下肢から他方へ体重を能動的に移動させることを含む。患者が医療機器の補助により立っている場合、椅子に向かって足をあげ踏み出せなければならない。(患者が立位介助用リフトを使用し、足を踏み出さずに移動した場合を含まない)
6	その場で足踏み (ベッドサイドで)	介助の有無にかかわらず、足を交互に上げることによってその場で足踏みが可能 (少なくとも 4 回、各足 2 回ずつの足踏みができなければならない)
7	2 名以上の介助で 歩行	2 名以上の介助で、ベッドや椅子から離れて少なくとも 5 メートル歩く。
8	1 名の介助で歩行	1 名の介助で、ベッドや椅子から離れて少なくとも 5 メートル歩く。
9	歩行補助具を使っ て自立して歩行	人による介助はなく、歩行補助具を用いて、ベッドや椅子から離れて少なくとも 5 メートル歩く。車椅子患者の場合は、ベッドや椅子から 5 メートル自力で車椅子を操作して離れられる。
10	歩行補助具なしで 自立して歩行	人による介助はなく、歩行補助具も用いないで、ベッドや椅子から少なくとも 5 メートル歩く。



This Japanese version was created by Hajime Katsukawa, Toru Kotani, Shunsuke Taito, Shinichi Watanabe, Mika Ohno, Masako Shimada, Keibun Liu, Ryo Kozu and Carol Hodgson.

The original English version was created by Carol Hodgson, Dale Needham, Michael Bailey, Paul Young, Heidi Buhr, Alisa Higgins, Jeff Presneill and Sue Berney, and was originally published in Heart and Lung 2014;43;19-24.

DOI: <http://dx.doi.org/10.1016/j.hrtlng.2013.11.003>

It is licensed under the Attribution – Non Commercial-NoDerivs 4.0 International License. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>